

全国の博物館・美術館が収蔵する文化遺産の情報を登録し、インターネットで閲覧できる文化庁のサイト「文化遺産オンライン」の登録情報が公開4年目で9万2466件となり、まもなく10万件の大台に到達する。

同サイトは、文化庁と国立情報学研究所が2008年3月に正式公開を始めた。データベースのほか、年代、種類、地域ごとに写真を検索できるシステムや、無形文化財を動画で見られる機能などを採用。10年12月から、検索した文化財のデータから、関連が深いと思われる文化財を自動抽出して表示するシステムも新たに導入した。

当初は、文化財を1件ずつ登録していたため、博物館、美術館側に負担が大きかったが、そ

文化遺産オンライン 10万件目前

の後、複数を一括登録できる方式に。今年11月までの登録館数も、全国約3000館のうち927館と3分の1に迫り、月平均で約5万人が延べ67万回を閲覧するという。

文化庁は、最終的に国内の全文化遺産の登録を目指す。伝統文化課の森政之・文化財保護調整室長は「博物館や美術館にとっても収蔵作品の広報になる。手間はかかるが、登録に協力してほしい」と話していた。

THE YOMURI SHIMBUN

読売新聞